



タイトル「**2017年度 経済学部シラバス**」、フォルダ「**2017年度 経済学部シラバス**」  
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	国際物流論		
担当教員	<a href="#">辻本 勝久</a>		
対象学年		クラス	E1
講義室		開講学期	後期
曜日・時限	月 4	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	標準履修年次 2・3年次		
科目名 (英語表記)	International Logistics		
授業の概要・ねらい	世界経済のグローバル化に伴い、国際物流の重要性が高まっている。本講義ではまず、こんにちの荷主企業の物流戦略について説明する。続いて、国際物流サービスの供給者である航空業、海運業やフォワーダ等の特質について概説し、荷主ニーズの高度化への対応状況について学んでいく。最後に、わが国の空港・港湾や、それらへのアクセス交通網、そして背後の産業団地の整備・運営政策について、近隣アジア諸国等の事例との比較のもとで解説し、あるべき改善方向について議論する。		
授業計画	<p>講義の順序を入れ替えることがあります。</p> <p>回 内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 イントロダクション</li> <li>2 日本および東アジアにおける貿易の推移と現状</li> <li>3 貿易の自由化</li> <li>4 貿易自由化の進展と国際物流 (1)</li> <li>5 貿易自由化の進展と国際物流 (2)</li> <li>6 航空輸送の特性・枠組み・現状 (1)</li> <li>7 航空輸送の特性・枠組み・現状 (2)</li> <li>8 航空輸送の特性・枠組み・現状 (3)</li> <li>9 航空輸送の特性・枠組み・現状 (4)</li> <li>10 海上輸送の特性・枠組み・現状 (1)</li> <li>11 海上輸送の特性・枠組み・現状 (2)</li> <li>12 海上輸送の特性・枠組み・現状 (3)</li> <li>13 荷主ニーズの高度化と新しい国際物流サービス</li> <li>14 グローバル・ロジスティクスの発達と国や地域の対応策 (1) 港湾政策を中心に</li> <li>15 グローバル・ロジスティクスの発達と国や地域の対応策 (2) 空港政策を中心に</li> </ol>		
到達目標	キーワードを理解し、簡単に説明できること。 講義内容をふまえて、国際物流政策や国際物流サービスのあり方に関する提言ができること。		
成績評価の方法	確認シートとグループレポート30%、定期テスト70%の配分で評価する。定期テストは参照不可とする。		
教科書	特になし。毎回、プリントを配布する。		
参考書・参考文献	鈴木『国際物流の理論と実務』、成山堂書店 黒田ほか『変貌するアジアの交通と物流』、技報堂出版		
履修上の注意・メッセージ	私語防止のため、履修者名簿が確定次第、全席指定制とする。その際には、目が悪い等の事情には配慮する。		
履修する上で必要な事項	IC学生証で出欠確認を行うので、必ず携帯すること。		
受講を推奨する関連科目	ワールド・エコノミー、交通政策など。授業科目関連図を参照のこと。		
授業時間外学習についての指示	新聞等で関連する情報に触れるようにするとともに、授業で配布するプリントの復習をしてください。		
その他連絡事項			



---

Copyright (c) 2008 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.